# あぶたん つうしん

令和8年8月31日発行

## 仙台南部流域治水出張所だより




発　行：国土交通省　東北地方整備局
仙台河川国道事務所　仙台南部流域治水出張所
〒989-2441　岩沼市館下１丁目２番９号　0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

学び

**8月23日、亘理町逢隈地区河川敷（阿武隈川右岸）で開催されたのは、逢隈地区まちづくり協議会主催の「2026ひまわりの花を楽しむつどいinおおくま」。**

**「花を楽しみ」「ゲームを楽しみ」「学びを楽しむ」このイベント。関係機関としてＪＲ東日本（株）とともに仙台南部流域治水出張所も、ブースを設けて流域治水についてのアピールをしたっちゃよ！**

## Q.『流域治水』って何だっちゃ？！

国土交通省が推進している

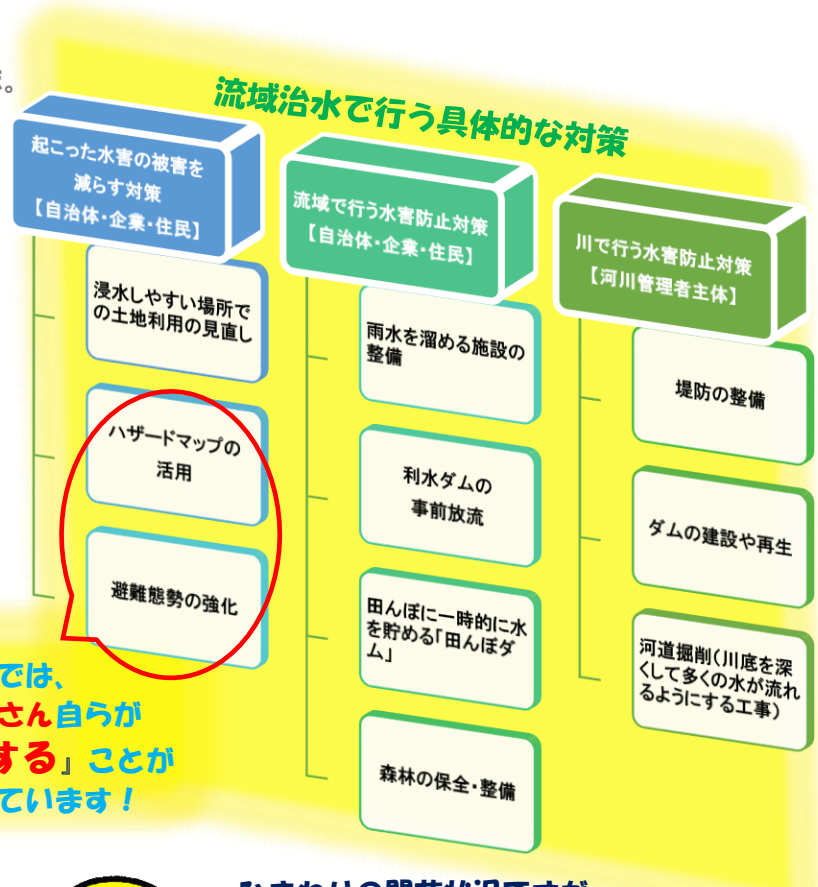
## A.『水害への備えの考え方』だっちゃ！

これまでの治水対策というと
・堤防を高くする　・川幅を拡げる　・上流にダムを整備する…といった、河川管理者による河川中心の対策が主でした。

しかし、気候変動の影響で短時間の大雨や大型台風による水害が頻発・激甚化し、従来の河川中心の治水対策では対応しきれなくなりました。
そこで、2021年。河川だけでなく、その周辺のまち・森林・農地などを含む流域全体で水害を減らす考え方に方針を見直しました。
一言でいうと、「川だけでなく、流域のみんなで水害に備える治水」。
河川管理者だけではなく、流域全体で水をコントロールし、被害を減らす取り組みを進めようというものです。

**これまでの治水（昔の方針）　大雨災害は河川・ダムでくい止める！**

**流域治水（現在の方針）**
**河川・ダムだけでは水害を防げないので、流域全体で**
**水を分散・保留・排出する！**




国土交通省職員が、流域治水について住民の皆さんに直接アピールさせていただく機会は、残念ながらあまりありません。
ゆえに、ブースを訪れた方々へは渾身の説明をさせていただいた職員たちでした。
たくさんのご来訪ありがとうございました♥

**流域治水では、住民の皆さん自らが『避難する』ことが求められています！**

## ゲーム

**イベントでは、ひまわりの花を使った遊びや、ひまわり畑を舞台とした迷路宝探しなども行われたっちゃよ！**

キッチンカーや休憩所もあって飲食もバッチリ♪


ひまわり円盤投げゲーム


ゲームと体験盛りだくさんJRブース



**ひまわりの開花状況ですが、イベント当日(8/23)は三分咲きでした。8月末～9月上旬に見頃となる見込みです。**

**県道からはこの案内看板→を目印にお越しください。**




## 花

### 花畑のはじまりは

「町内の住民はもとより、通勤・通学で常磐線を利用する方々にも車窓からの景色を楽しんでもらい、地域の良さを再認識していただきたい」

2008年、 逢隈地区の有志の皆さんの想いからスタートした花畑。 最初は、時間と人手をかけて荒れた河川敷を整備する必要があり、また、土地の維持管理経費や花の種子代等の予算確保も大変だったそうです。ですが、皆で協力して楽しみながら播種作業や畑の管理を行い、花を愛でていました。
2011年7月に逢隈地区まちづくり協議会が設立され、「おおくま花畑事業」として事業が継続され現在に至ります。


速度低下運転中のJR常磐線列車に手を振ると
運転手さんが警笛で、車掌さんが手を振って応えてくれました


たくさんの人が来てたっちゃ♪

**今では、地元の小中学生、地域住民、高齢者、民間業者と行政が一堂に会するイベントを催すコミュニティの力と、「放置すれば荒れてしまう河川敷を、住民の手で守りつつ観光客を呼べるにぎわいの場に変えた優良事例」としての取り組みが高く評価され、新聞やテレビ取材で花畑の知名度も上がり、事業への協力者も増えるなど事業拡大の好影響となっています。**



# 美水判定いかに？　水生生物調査

7月16日、阿武隈川との合流点近くの白石川で水生生物調査を行いました。水生生物調査では、川に住む生き物を採取し、採取した生物の数を調べることで、水質（よごれの程度）を総合的に評価します。



←採取した生物の名前と数を調べ記録します。「きれいな水」「ややきれいな水」「ややきたない水」「きたない水」４階級の判定目安となる指標生物のリストと照合します。

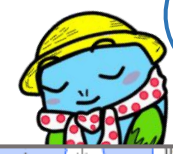
結果、昨年に引き続き

**きれいな水**　と

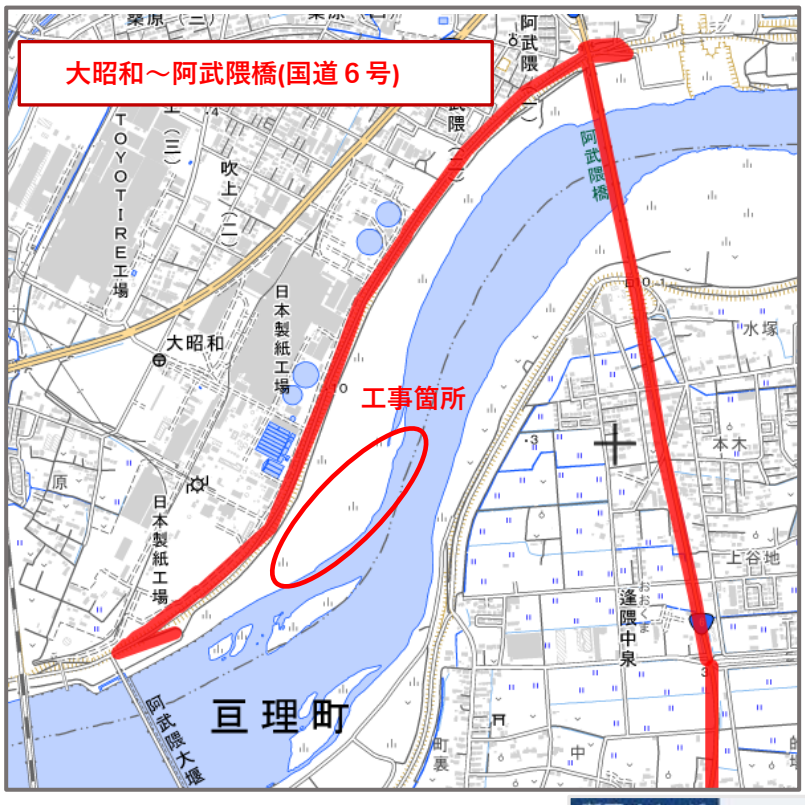
判定されました！

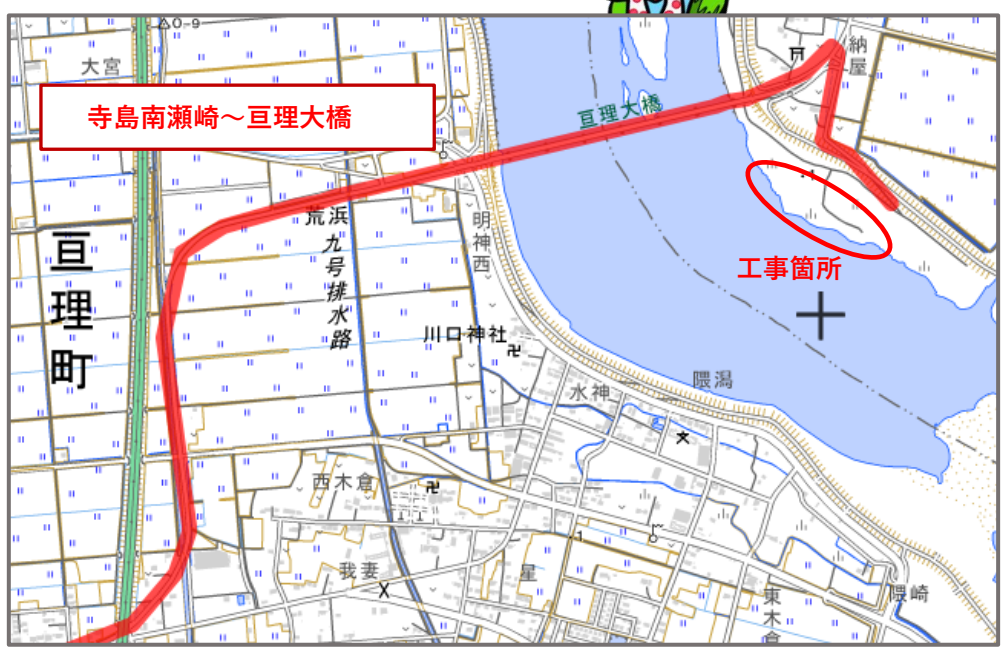
# 工事車両にご注意ください！　河道掘削工事が本格始動します

工事への
ご理解とご協力を
お願いいたします



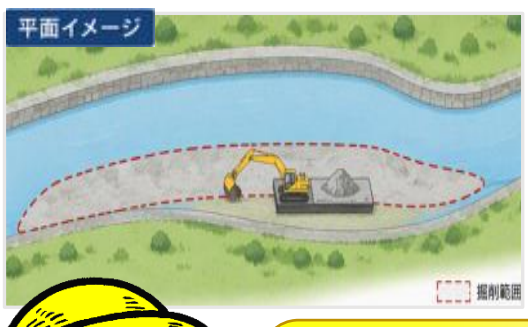
阿武隈川左岸（岩沼市側）2地区での工事に伴い、施工現場周辺の道路を**工事車両が通行**します。
近隣住民の方および散歩等で河川敷を利用される方はご注意ください。　（赤線箇所）

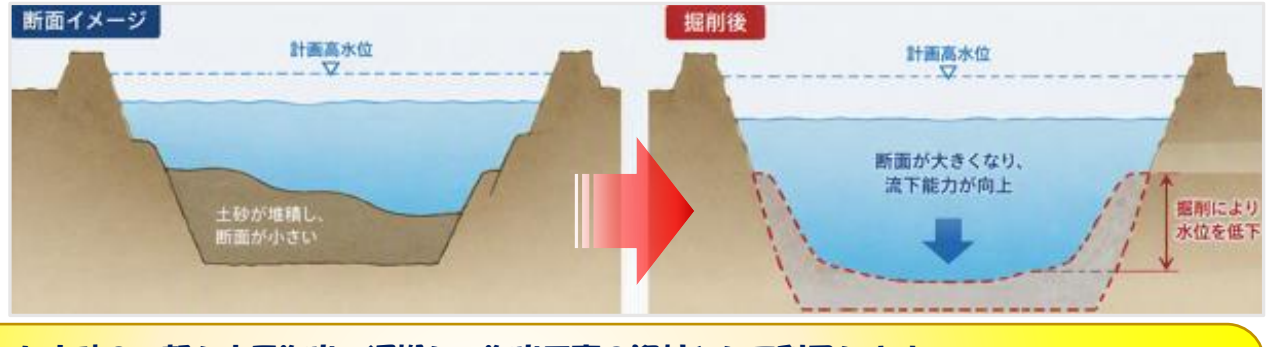



※国土地理院地図を加工して作成

**河道内の土砂を掘削し川の断面を大きくすることで、流下能力を向上させ、堤防からの越水や氾濫のリスクを軽減させるための工事です。**






**当工事では、掘削した土砂の一部を山元海岸へ運搬し、海岸工事の資材として利用します。**
**国土交通省では、山元町を含む仙台湾南部海岸で見られる深刻な海岸浸食への対策として、2000年代から海岸保全施設の整備を進めてきました。現在もヘッドランド（人工岬）の設置や養浜工事を進め、砂浜の復元と防護を目指しています。**

河川工事で生じた副産物を海岸工事に活用すると、工費と資源の節約になるんだっちゃね～

ふんわりと
河原刈草
夏の味



## 刈草無償提供開始！　絶賛受付中

詳細はここをクリック♪

スマホの方は
こちら→

無農薬！

希望者は、申込書を
仙台南部流域治水出張所へ提出してください。

## 絵手紙まだまだ募集中♪

☆応募資格は河川愛護月間の趣旨に賛同していただける方。
年齢・性別・職業などの制限はありません。
応募は一人一作品。

☆締め切りは令和８年10月９日（金）必着

詳細はここをクリック♪

スマホの方は
こちら→